平成２８年度　競技関係　確認・反省・協議事項

Ｈ２９．２．２０

確 認 事 項（Ｈ１６年度～）

１．選手変更について

・メンバー変更は連続する大会日程の時は、変更不可能！ただし、１日でも間があいた場合は変更可能。大会期間が連続で開催されない場合、選手変更を許可する。

ex．　大会が〇月３日（土）と〇月５日（月）の場合。３日・５日の両日変更可能

２．鳴りものを使用しての応援

高校での使用

・高校会場の体育館での鳴り物の応援は従来から使用しているペットボトル・メガホン・ばち・しゃもじなどは使用可！但し、手すりなどを体育館の器物をたたかないように各チームは配慮しておこなう。また、大会本部が不適切と判断した場合、使用を禁止してもらう。

公共施設での使用

・ブラスバンド等、上記以外の鳴り物を使った応援の場合、公共の施設のみで使用可とする。ただし、公共の施設管理者からの要望がある場合，また、大会本部が使用を見送った方がよいと判断した場合、使用を禁止する。

・応援席・場所については競技運営上支障にならない場所で行い、大会本部から指示が有った場合、それに従ってもらう。その他、席・場所については応援者同士の話し合いで行いトラブルについては各校で解決すること。

・応援は主審のサーブの吹笛前から主審のジャッジが行われるまでは行わない。

３．参加資格

・「同一学年での出場は１回限りとする」の解釈について

（原級留置や年度途中で退学して転校等する場合に限られる。）

Ｈ１６年度から「出場＝コートに立つ」と考える。つまり、ベンチに入っていても実際コートに立たなければ出場したことにはならない。と解釈される。（従来は「入部＝出場」となっており、入部した時点で出場したことになっていた。）よって、競技部としては

①県内の各支部の地区大会からの記録用紙（ＩＦ）を３年間保管する。

（地区大会は地区の支部責任者が保管・県大会は競技委員長が保管）

②県外からの転校してきた部員の場合。選手の自己申告とともに、現監督が前の学校に必ず確認をとり、<u>競技委員長へ報告する。</u>競技委員長と総務委員長は独自に確認を取り、もし違反がわかった場合は試合を無効とする。

③外国人留学生についてはパスポートで年齢を確認する。

４．引　率

当該校の職員（校長も可能になった）

＊引率問題があるので詳細は校長に相談し、了承を得ること。

要項の文言では

引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。引率者は、全ての行動に対して責任を負うものとする。ただし、監督が非常勤講師又は外部指導者の場合、引率責任者が必要

５．監　督

・校長が認める指導者＝外部指導者も可能。

要項の文言では

監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。（保険証の写し等を大会本部に提出すること）

６．ベスト８の次大会組合せ時の取り扱い。

・選手権大会は県総体ベスト４を固定し、セカンド４は前回大会で１位チームと対戦したチームが再び対戦しないように配慮し、抽選を行う。

・春季大会は新人戦のベスト８をそのまま折り返して配置する。

県総体は春季大会ベスト４を固定し、セカンド４は前回大会で１位チームと対戦したチームが再び対戦しないように配慮し抽選を行う。

・県総体予選の抽選は地区総体の結果をもとに各地区１位を抽選時にシードしたがＨ１６年度よりフリー抽選とする。（シード校以外の抽選の件）

７．大会要項に大会使用球を明記する。

８．新人大会の２日目（リーグ戦）は相互に補助員を出し合う。

９．開始式後は第１試合のチーム以外は早急にフロアー外に出ること。

10. テレビ放映がある大会日のプロトコールはＶリーグ方式で行った。（選手権大会は公式練習５分で）また、試合前のコートを使った練習は１０分間とした。

11. 各支部で行われる県大会会場の公共の体育館は、その支部にある公共施設を使用する。

12. 申込みについて

・地区大会申込の時に６名に満たないチームの申し込みは受け付けない。
（但し、合同チームの場合は要項に従う。）

・春季大会の新１年生の申し込みの取り扱い。入学式以前に大会がある場合は、学校長の許可があれば出場可能である。

13. Ｈ２１年度から大会のエントリーが１２名→１４名（最大１４名の競技者で構成してよいがリベロをのぞく正規競技者は最大１２名）。リベロプレーヤーゼッケンの使用禁止とする。

14. Ｈ２３年度よりＪＶＡＭＲＳ（個人登録システム）よりプリントアウトしたチーム加入選手一覧は春季支部予選から必ず提出をしていただく。

15. 申込用紙に引率責任者欄を設けた

16. 県総体・選手権大会において、準決勝・決勝の男女の順を年度で変更した。
平成２５年度は男子を先、女子を後とした。

17. 競技開始時間の定義をホイッスルの時間とし、３セットマッチは原則１１分前をプロトコールとする。

18. 新人戦競技方法を変更した。支部大会を実施しシード順を決定。支部大会に参加したチームをすべて県大会出場チームとした。また、最終日１位リーグ４位と２位リーグ１位を対戦させ最終順位を決定した。

19. 構成メンバー表提出について変更した。

20. 開会式・開始式の時間を変更して、第１試合の該当チームに配慮した。

21. **構成メンバー用紙の様式を変更した。リベロの記載のないものを利用し、試合前監督に記入してもらうこととした。**

22. **新人戦競技方法を変更した。順位決定のためリーグ戦を行っていたがリーグ戦を廃止し、順位決定トーナメント戦とした。**

反 省 事 項

新人戦の順位決定方法を変更したことについて、補助員の件を検討できておらず、各校に迷惑を掛けた。

協 議 事 項